

憲法をいかし、いのちとくらしを守る平和な社会を！

2016年
国際女性デー
第56回宮城県集会

安保関連法案（戦争法案）が2015年9月19日、強行採決されました。戦後70年間戦争をしなかった日本が戦争にひきずりこまれる危険が迫ってきています。

「戦争をする国」にさせないために、私たちはどうしたら良いのでしょうか？

有馬理恵さんと一緒に考えてみましょう。お誘いあわせてぜひご参加ください。

とき 2016年3月8日（火）18：15～20：15

ところ エル・パーク仙台5階セミナーホール

（仙台三越定禅寺通り館／下図参照）

資料代 500円

講師 **有馬 理恵** さん（劇団俳優座所属）

講演 **差別と戦争をなくすために**
～おしばいとおはなし～
—ふるえるような怒りの奥底に
— すぎるような生命の願いがあった—



地下鉄南北線勾当台公園下車
（南1番出口より地下道で連結）

★有馬理恵さんプロフィール★

和歌山県生まれ。劇団俳優座所属。10歳の息子の母。

高校時代に「釈迦内枢唄」（水上勉作、浅利香津代主演）を観て衝撃を受け、芝居の道へ。1991年俳優座入団。「先生のオリザニン」「かもめ」「肝つ玉おっ母とその子供たち」「憲法ミュージカル」など数多くの作品に出演しつつ、1999年より「釈迦内枢唄」をライフワークとして各地で主演。その数は500ステージにおよぶ。2012年より演出は米倉斉加年さんが担当。

2013年日本新劇俳優協会「朗読・Mini Festival」観客賞受賞。

2012年米国ルイビル国際映画祭最優秀ドキュメンタリー賞受賞作品、映画「円空・今に生きる」で、円空の母を演じる。

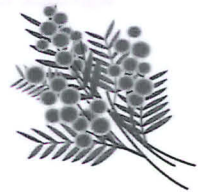
2003年文化庁新進芸術家国内研修生。

主催 国際女性デー宮城県実行委員会

仙台市青葉区五橋1-5-13 新日本婦人の会宮城県本部気付 Tel.022-262-5101

国際女性デーとは・・・

1904年3月8日にニューヨークの女性たちが「パンよこせ」「女性にも参政権を」とデモを起こした行動を記念して、1910年に3月8日を女性の解放と平和な社会建設のための国際的な戦いの日とすることが提唱され、国連は1975年（国際婦人年）にこの日を「国際女性デー」と決めました。この日世界各国で記念行事や催しが開催されています。日本では1923年に第1回が弾圧の中で持たれ、今に歴史を引き継いでいます。



国際（国連）女性デー宮城県集會 第51回～第55回のあゆみ

回	日時	講師・所属	講演題目	会場
51	2011（平23）年 3月8日（火） 18：10～20：15	おぐり じゅんこ 小栗 純子 日本航空キャビンクルー ユニオン・副委員長	人間として客室乗務員として ～今、私達の闘いは～	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
			空の絶対安全をめざして一日航の「整理解雇」とたたかう女性たち— 2010年12月31日、日本航空「整理解雇者」165名の一人となった小栗さんは、「裁判と職場の闘いでJALの真の再生をめざす」と凛としてお話をしてくださいました。	
52	2012（平24）年 3月8日（木） 18：15～20：15	いとう ちひろ 伊藤 千尋 ジャーナリスト 朝日新聞社記者	脱原発に向かう世界と日本 地球を生かす ～市民が創る自然エネルギー～	エル・パーク仙台6階 スタジオホール
			戦闘（せんとう）でなく銭湯（せんとう）を！ 憲法と地球の力を活かし、平和で安全な世界を！ 憲法を活かし平和を創る、社会を変える世界の人々の姿を全国各地で熱く語っている伊藤さんは、どう新しい社会を創っていけばいいのかを世界と日本の事例から提案してくださいました。	
53	2013（平25）年 3月8日（金） 18：15～20：15	かねこ まさる 金子 勝 立正大学法学部教授 憲法学	生きる権利と日本国憲法 —“憲法の語り部”となるために—	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
			頭ではわかっていると思いつつ、実は知らないことも多い「憲法」について、資料を示しながら丁寧に説明してくださいました。「戦争する日本」づくりではなく、「平和的福祉国家」の考えのもとで初めて「3.11」の被災者の救済が可能となると熱く語ってくださいました。	
54	2014（平26）年 3月8日（土） 18：30～20：30	かたやま さとし 片山 知史 東北大学大学院 農学研究科教授	放射能汚染と水産物への影響 —放射能汚染問題にどう向き合うか—	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
			東日本大震災から3年、津波で大きく改変した沿岸部も一部を除いて回復したと判断されるが「放射能さえなければ」という福島漁民の悲痛な言葉の紹介とともに省庁を超えた水産物・食品管理システムの検討が必要と語られました。参加者の質問も多く、関心の高さが伺えました。	
55	2015（平27）年 3月8日（日） 13：30～15：30	かな ともこ 海南 友子 ドキュメンタリー映画 監督	平和をめざすメディアの役割 —母として、ジャーナリストとして—	TKPガーデンシティ 仙台勾当台ホール3
			学生時代やNHK入社後の体験を語られた後、フリーになって作った「にがい涙の大地から」は70年前日本軍が中国に遺棄した化学兵器の被害が今なお起きている現実を多くの人に知って欲しいと話されました。100年後の未来を見つめて生きなければ…と結んで、講演を終えました。	



(海南友子さんの講演)



(東一番町をパレード)

第55回宮城県集會は、講演、アピール（案）の採択後、小雨の中ミモザの花やプラカードを持って、勾当台公園市民広場から東一番町～青葉通りをパレードし、仙都会館前で流れ解散となりました。

★★★

国際女性デー宮城県実行委員会